「こども本の森 遠野 ～夢と希望～」

こども本の森 遠野
Tono Children's Book Forest

【コンセプト】みんなで育てる「本の森」風通しの良い開かれた空間をイメージしています。
【キーワード】森・木・本・種・土・耕す・みんなで育てる・集まる・遠野の自然・心地よさ・共生

岩手県遠野市民センター文化課
こども本の森運営企画室

こども本の森構想推進事業　概念

コンセプト

本とふるさと
未来へつなぐ　文化復興拠点

『遠野物語』を生んだ”永遠の日本のふるさと”遠野。沿岸部のハブとなり震災復興の拠点となったこの地で、脈々と伝承されてきた古きよき文化を土台として、未来をつくる子どもたちのために、”本”を中心とした、新たな復興のシンボルをつくる。

世界的建築家　安藤忠雄氏の想い
～なぜ?　遠野に本の森?～

東日本大震災の後10年間、安藤忠雄氏は同志に声をかけ共に発起人となり、東北3県に育英資金を寄せてきた

「東北復興のシンボルは　子どもたちの未来である

子どもたちの未来のためには　本・読書が大事ではないか」

日本文化の原点でもあり『遠野物語』が今もなお息づいている遠野の郷に子どもたちがしっかりと本を読む場をつくりたい

遠野には古民家もある　外観を残しながら

子ども向けの本の施設にしてみるのはどうか

人口減少をただ仕方ないと思うのではなく　みんなで考えて　挑戦してみませんか

遠野市の想い

一日市通りから遠野小学校周辺までをわらすっこが安心して、**想像力と創造力を育む居場所**として位置付けたい

世界的建築家　安藤忠雄氏の子どもに対する夢、希望、本の森への想いを強く感じ、それらのすべての**想いを形**にする

『遠野物語』110年の年に**遠野から世界に文化を発信**したい

決して、遠野だけの施設ではなく、**沿岸被災地との文化のネットワーク**を作る拠点

30年、50年後を思い描きながら将来を見据えて**子どもたちの夢と希望**に向かっていくしくみづくり

子どもを地域で大切に育てることによって、その土地への**「愛着心」が育まれる**ことを期待している

人類社会、農耕、工業、情報の様々な社会、時代を経てきた現代今や、**IT・AIの超スマート社会**の到来

ICTを活用した確かな**学力の育成**と併せて**豊かな心**(想像力と創造力)を育む所として、**「こども本の森構想」**を位置付ける

こども本の森構想推進事業　経過

平成31年

１月　市へ遠野文化研究センター赤坂所長、西舘顧問から「こども向け本の施設」について提案

令和元年

６月　遠野文化研究センター運営委員会内に「検討チーム」設置

７月　安藤忠雄建築研究所を市長訪問

安藤忠雄氏から遠野市に「こども向け本の施設」を寄贈したいとの申出

８月　安藤忠雄氏講演会 at 遠野市　開催

演題「遠野市から地方都市の可能性を考える」　約600名の参加

10月　検討チームが市長にプロジェクトの「コンセプト・シート」を提出

11月　こども本の森構想推進準備室設置

令和２年

１月10日　第１回懇談会及びワーキンググループ合同会議

１月23日　第２回ワーキンググループ会議開催

３月17日　第３回ワーキンググループ会議開催

３月25日　第４回ワーキンググループ会議開催

５月13～22日　第２回懇談会及び第５回ワーキンググループ会議(書面)

７月10日　第３回懇談会及び第６回ワーキンググループ合同会議開催

7月14日　こども本の森中之島視察(市長　他)

７月31日　第７回ワーキンググループ会議開催

８月７日　安藤忠雄建築研究所と遠野市が施設の寄附に係る「覚書」締結

８月24日　第８回ワーキンググループ会議開催

9月17日　市議会９月定例会「負担付きの寄附を受けることについて」議決

9月26日　旧三田屋引越し作業及びありがとうの会　50名

9月29日　記者懇談会「こども本の森構想推進事業」単独発表

9月30日　岩手日報全面広告

10月１日　広報とおの10月号特集

10月１日～　本と寄附の募集開始

10月８日　旧三田屋解体前の神事　/　10月10日　着工

10月22～23日「こども本の森 中之島」視察ワーキンググループ６名

11月16日　「こども本の森 遠野」起工式

11月16日　第９回ワーキンググループ会議

12月11日　市議会12月定例会「遠野市こども本の森遠野条例」議決

令和３年

１月１日　こども本の森拠点整備室設置

１月10日　朝日新聞全国版に掲載

１月22日　市議会教育民生常任委員会とワーキンググループとの懇談会

１月29日　記者懇談会「本と寄附の募集状況について」

２月13日　ワーキンググループ広報チーム「こども本の森 遠野を語る会」

２月19日　「こども本の森 遠野」運営に関する確認書取り交わし及び記者懇談会

３月12日　市議会３月定例会令和３年度当初予算議決

３月18日　第４回懇談会

３月20日　ワーキンググループ広報企画チーム「第２回こども本の森 遠野を語る会」

４月１日　「こども本の森 遠野」オールスタッフミーティング

４月３日　上棟セレモニー

４月27日　ワーキンググループ広報企画チーム「第３回こども本の森 遠野を語る会」

5月11日　市議会教育民生常任委員会とワーキンググループ等との懇談

６月15日　安藤忠雄建築研究所からの寄附採納式・建物引き渡し

７月24日　岩手日報全面広告

７月24日　こども本の森遠野を育てる会発足　会員70名・内覧会120名

７月25日　こども本の森運営企画室設置

７月25日　こども本の森遠野オープニングセレモニー　来場300人

11月20日　こども本の森遠野オープン記念安藤忠雄氏講演会開催

演題「生まれ変わる」　来場300人

オープニングセレモニー　2021.7.25

♪お山節

テープカット・くす玉
バルーン

一日市南部ばやし

やまどり号

コロナウイルス対策

「夢と希望」

こども本の森遠野キャラクター

こども本の森 遠野
Tono Children's Book Forest

公式キャラクター紹介

かっぷー

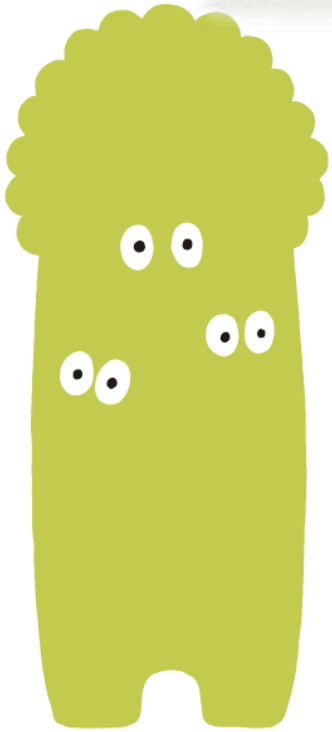
きれいな川に住んでいる。水の中では透明になり素早く泳ぐが、陸にあがると姿をあらわし2本の足で歩く。

もーりせんせい

民話研究者。たくさんの本を読んだり、ひとから話を聞いては書き記している。鳥が登場する民話にはとくに興味がある。

ざわっこ

明るく元気なみんなのアイドル。家々を訪ねて歌ったりダンスをするのが好き。それを見ると、たちまち幸せになると言われている。



どったばった

山奥に住んでいる。家族がたくさんいて、みんな山を守る仕事をしているが町に遊びに行くのも大好き。

こもるん

寒い雪の日に山の向こうからやってくる。子どもがつくったかまくらが好きで、上手なかまくらに住みついてしまう。

ししどん

みんなの幸せと平和を守るため日々パトロールしている。その見た目のせいで怖がられてしまうことがあるが、じつはとてもやさしい。

のきのき

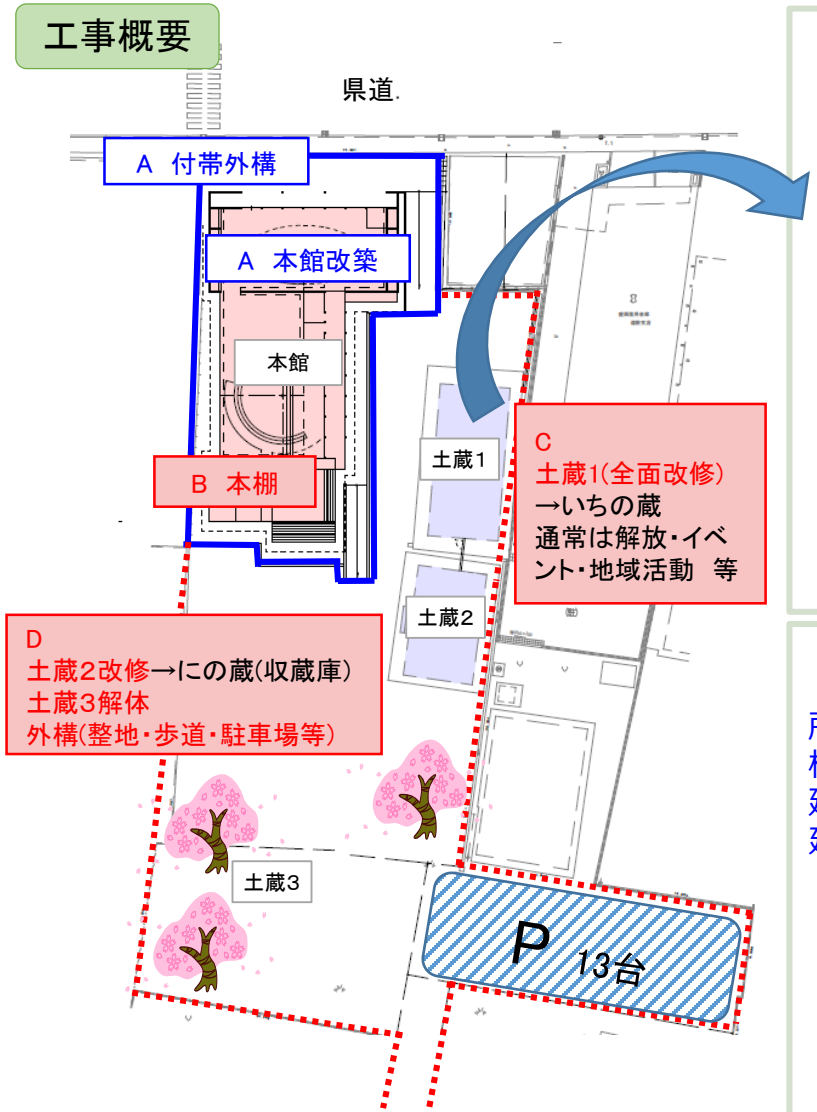
じっと動かないことが多いが、たくさんの目で動物や景色を観察しているので、とでもものしり。

キャラクターに親しみを感じていただくために、市内小学生からキャラクターの愛称を募集し、審査会により決定

(1) 対象数　…　1,083人　　(2) 応募数　…　389人　（応募率：35.92%）

こども本の森遠野工事概要

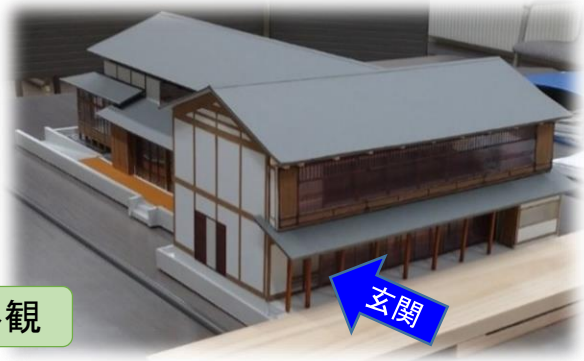
工事概要



【いちの蔵】

【本館概要】

所在地　遠野市中央通り１番16号
構造　木造地上２階建て
建築面積　436.66㎡
延床面積　498.10㎡



一日市通りからの外観

施設内観

閲覧室A

閲覧室B

地域活動室

授乳室

バリアフリートイレ

閲覧室C

こども本の森遠野　グッズ

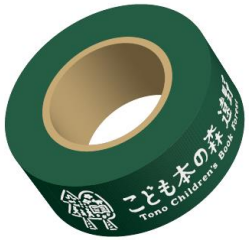
グッズイメージ

くれよん

マグネット

クリアファイル

もくもく絵本



マスキングテープ

【現状】
・9品目　クリアファイル、マグネット、マスキングテープ、くれよん、もくもく絵本　等
・安藤忠雄氏の著書

令和4年2月から順次販売

・キャラクターのグッズを制作中(シール・メモ帳等)

こども本の森遠野を育てる会

語る会を進化したカタチ

令和3年7月24日　発足

1　ワーキンググループメンバー4人が中心

2　これまで3回開催した「語る会」においてサポーターとして参画していただける方等　　会員　77人

3　設立式　7月24日(土)　こども本の森遠野　いちの蔵

ブックカバーコーティング体験会

活動状況

1　「こども本の森遠野を育てる会」会報の発行
　こども本の森遠野の様子等についてお知らせ
　2月まで　　10回送付

2　育てる会懇談会の開催
　年4回程度の予定　①1月22日　②4月　③7月　④10月

「こども本の森遠野を育てる会」の会則について

1　この会は「こども本の森遠野」(以下、本の森) が、子どもたちの心を耕す施設になるよう支援する会である。

2　そのための集まりを１年に４回程度行い、自由に意見を言い、アイデアを出し合う。

3　集まりには遠野市の担当者にも参加してもらい、そこで出た意見や要望を本の森の運営に反映してもらう。

4　支援をする意志のある人や事業所であれば、だれでも会員とすることができる。

5　会費はなく、経費がかかる場合はその都度協議し捻出方法を考える。

6　会の運営をスムーズにするため、運営委員会を設け代表を１人置く。

7　事務局を本の森の遠野市担当課に置いてもらう。
　(連絡先 0198-63-3003)

8　この会は、本の森の運営などについて遠野市からの協力要請があれば、最大限協力する。

令和３年７月 24 日設立

こども本の森遠野を育てる会

安藤忠雄さんからのメッセージ

● Special Message

「こども本の森 遠野」の開館、
おめでとうございます。

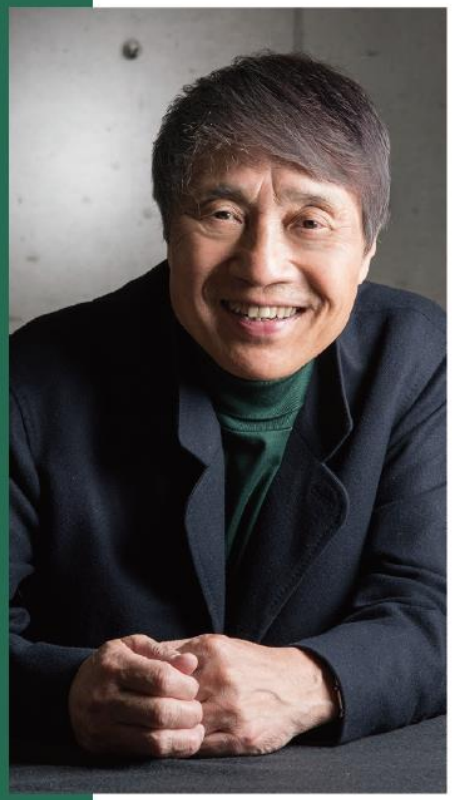
読書を通して得られる知識や体験は
スマートフォンで得る情報とは比べものに
ならないくらいの価値があります。

日本文学の原点である遠野の郷に、
子どもたちがしっかりと本を読むことの
出来る場をつくりたい、という思いから、
この計画はスタートしました。

遠野には私達の多くが忘れてしまった
「心の世界」が残っています。
子どもたちには、古い民家を再生した
この「こども本の森 遠野」で、たくさんの
本を読みながら、過去を学び、今を考え、
未来を想像して欲しいと思います。

ぜひ何回も何回も通って、自分の心に残る
大切な一冊を探してみてください。

Tadao Ando　安藤 忠雄　25/07/2021



世界的建築家
安藤 忠雄さん
あんどう ただお
Ando Tadao

●Profile プロフィール

昭和16(1941)年大阪生まれ。17歳でプロボクサーとして活動したのち、独学で建築を学び、昭和44(1969)年「安藤忠雄建築研究所」を設立。代表作に「光の教会」「フォートワース現代美術館」「ブンタ・デラ・ドガーナ」など。平成9(1997)年から東京大学教授、現・名誉教授。平成12(2000)年、瀬戸内海の破壊された自然を回復するための植樹活動「瀬戸内オリーブ基金」を設立。平成23(2011)年「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」実行委員長。

昭和54(1979)年／「住吉の長屋」で日本建築学会賞、平成7(1995)年／プリツカー賞、平成17(2005)年／国際建築家連合(UIA)ゴールドメダル、平成22(2010)年／文化勲章、令和3(2021)年／レジオン・ドヌール勲章コマンドールなど受賞多数。